

発行/伊勢原市 編集/広報戦略課
〒259-1188 伊勢原市田中348番地
☎0463-94-4711(代)
FAX 0463-93-2689



伊勢原市は令和3年3月1日に
市制施行50周年を迎えます



伊勢原市
「いせはら 暮らし安心メール」の
配信登録や閲覧は、市ホームページから



人口と世帯 ●人口102,073(-48) ●世帯数46,106(-3) 8月1日現在()は前月比 発行部数/39,700部

令和3年4月採用の市職員を募集します

受験希望者は、受験案内を確認の上、申込書に記入し郵送で提出してください。受験案内や申込書は市ホームページ「職員採用」から入手できます。

締め切り 8月31日(月)※消印有効
今後募集する職種は、広報や市ホームページに掲載します。

☎職員課☎94-4873

■事務 一次試験日 11月1日(日)

職種	受験資格	募集人数
事務(初級) 【障がい者対象】	平成2年4月2日以降に生まれた人で、障害者手帳などの交付を受けている人	1人

■消防職 一次試験日 10月18日(日)・19日(月)の2日間

職種	受験資格	募集人数
消防(上級)	平成7年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学を卒業(令和3年3月末卒業見込みを含む)または同程度の学歴を有する人	2人
消防(初級)	平成7年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する高等学校を卒業(令和3年3月末卒業見込みを含む)または同程度の学歴を有する人	

※各職種とも地方公務員法第16条(欠格事項)に該当する人は受験できません

秋のイベント中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症が終息していない状況を受け、参加者の健康や安全面を優先して判断しました。

なお、来年の行政センター周辺イベントは、市制施行50周年記念事業となります。皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

中止のイベント

◇大山火祭新能☎商工観光課☎94-4729

◇行政センター周辺イベント

畜産まつり☎農業振興課☎94-4664

サポセンフェスタ☎市民協働課☎94-4714

いせはらストップ温暖化展☎環境対策課☎94-4737

子育て応援フェスタ☎子育て支援課☎94-4633

健康バス測定会☎健康づくり課☎94-4609

※例年、同時開催している伊勢原協同病院文化祭も中止となります

指定管理者を募集します

八幡谷戸ふれあいガーデン

市民農園を管理・運営する指定管理者を募集します。

指定期間 令和3年4月1日～8年3月31日(5年間)

対象施設 八幡谷戸ふれあいガーデン(西富岡1399番地)

応募資格 専門知識を有し、自主事業を展開できる法人・団体、または複数の団体により構成するグループ
受付期間 9月16日(水)～10月16日(金)
募集要項 8月31日(月)まで市役所2階の担当で配布します※市ホームページ「募集」からも入手できます

募集説明会

とき 9月3日(木)午後1時30分～

ところ 市民文化会館

☎農業振興課☎94-4648

総合運動公園ほか3公園

4公園を一括して管理・運営する指定管理者を募集します。

指定期間 令和3年4月1日～8年3月31日(5年間)

対象施設 総合運動公園、鈴川公園、市ノ坪公園、東富岡公園

応募資格 専門知識を有し、自主事業を展開できる法人・団体、または複数の団体により構成するグループ
受付期間 9月16日(水)～10月16日(金)
募集要項 8月17日(月)～31日(月)に市役所分室2階の担当と市役所2階のみどり公園課で配布します※市ホームページ「募集」からも入手できます

募集説明会

とき 9月7日(月)午後2時～

ところ 市体育館

☎スポーツ課☎94-4632

伊勢原市長選挙

投票日 9月20日(日)

☎選挙管理委員会事務局☎74-5273

旧青少年センターの電気自動車急速充電器を休止します

センターの解体工事に伴い、9月から敷地内の電気自動車急速充電器が利用できません。
ところ 旧青少年センター駐車場内(田中316番地の1)

休止期間 9月1日(火)午前9時～令和3年3月上旬
※再開時期は決まり次第、市ホームページでお知らせします
☎環境対策課☎94-4737

シリーズ Road to OYAMA 現代の大山道

第10回 「養毛通り大山道」

主要な大山道8道の最後として、南西から大山を目指す「養毛通り大山道」をたどってみたいと思います。現在の秦野市曲松で矢倉沢往還から分かれ、養毛を越えて大山へ至るルートです。

江戸からの参詣者が利用した参道に対し、小田原や伊豆、駿河などからの参詣者や富士講(富士山に参詣する集団)が西からの登山口として利用したことで知られ、養毛道や石尊道、富士浅間道という別名もあります。

ルートの途中には、養(西)の河原跡にある六地藏像や、かつての大山は男性のみ登拝が許されたことを示す女人禁制の碑などがあり、現在は「関東ふれあいの道」の一つとして整備されています。

御師の里として名高い「養毛」

江戸時代、坂本(現在の大山地区)に対して西坂本とも呼ばれた養毛は、西の門前町として17軒ほどの宿坊があったとされています。また、大山講を導く御師(先導師)の里として、静岡や山梨から多くの講を招きました。

江戸初期に幕府が行った「慶長の改革」により、古くから大山を修行の場としていた僧侶や修験者らが山内を追われ、多くが麓の坂本に居住した一方、一部が養毛に移住したとされます。やがて門前町を形成し、大山寺に属する御師となった彼らは、大山信仰の普及と拡大を図るため精力的に関東各地を巡り檀家の獲得と大山講の結成を進めました。これが、のちの大山詣りブームが起こるきっかけの一つになったとされています。

◇次回は最終回「現代に続く道」です



養毛入口にある大鳥居。県道の中央分離帯にあります(秦野市提供)



養(西)の河原跡の六地藏像。この付近は山中で罪を犯した人を処罰した場といわれています(秦野市提供)



秦野市くずはの家
マスコットキャラクター
「もりりん」